

2020年10月19日

株式会社蔦屋書店
蔦屋投資（上海）有限公司

中国に「蔦屋書店」が初出店
「杭州天目里 蔦屋書店」10月18日 OPEN

～杭州でもっとも創造力が刺激される文化の提案拠点～

株式会社蔦屋書店（以下、蔦屋書店）とその子会社である蔦屋投資（上海）有限公司は、砺玖弥新書店(杭州)有限责任公司とフランチャイズ契約を結び、中国初の「蔦屋書店」として「杭州天目里 蔦屋書店」を、10月18日にオープンいたしました。



中国出店1号店となる「杭州天目里 蔦屋書店」をオープンするのは、中国八大古都の一つであり、IT大手のアリババが本社を置く都市として有名な杭州市に、同日に開業した商業施設「天目里」内の1F・B1Fです。



「ポンピドゥー・センター」、「関西国際空港旅客ターミナル」などを設計した、イタリアを代表する建築家レンゾ・ピアノが建築を手がけた「天目里」は23万平方メートルを誇る広大な敷地に、ショッピングエリアをはじめ、博物館、ミュージアムショップ、オフィスビル、飲食店などが軒を連ねます。

その中において「杭州天目里 蔦屋書店」は、「杭州でもっとも創造力が刺激される文化の提案拠点」をコンセプトに、「アート」・「食」・「ファッション」・「建築インテリア」・「文芸」・「ワークスタイル」・「デザイン」・「旅」など様々なジャンルにおける提案を通じた「最高の『知的な居場所』」を目指します。